

## 第 回実務修習受講申請書

修習生番号
※ 事務局記入欄

平成 年 月 日現在

氏名	ふりがな ※戸籍に記載されている氏名を記入してください。	性別	写 真  ※ 写真の裏に氏名を書き、写真の裏全面にのりをつけてこの欄に貼ってください。  ※ 写真は、申込前3ヶ月以内に、脱帽、正面向き、上半身を撮った 縦4.5cm、横3.5cmのもので、本人と確認できる鮮明なものが 必要です。
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日生（年齢 満 才）		
現住所	ふりがな 〒		
	電話番号	— —	F A X 番号
勤務先	※所属の部・課名も記入してください。勤務先がない場合には「なし」と記入してください。		
	所在地	〒	
	電話番号	— —	F A X 番号
郵 送 先	現住所 ・ 勤務先	昼間の連絡先	現住所 ・ 勤務先
E - m a i l		携帯電話	— —
合格した試験の種類	※該当するものに○を付してください。 1. 不動産鑑定士試験 2. 旧法第二次 3. 特別士補 4. 特例	合格した試験の行われた年	昭和・平成 年
現在（最終）の学歴	学 校 名	学部・学科・コース名	卒業 ・ 卒業見込 ・ 中退
			在学中（ 年生）

実 地 演 習 等 申 請 欄	
実務修習期間の選択	私は、 年コースを選択します。
実地演習のみなし履修申請の有無及びその種類	※該当するものに○を付してください。  1. 物件調査実地演習    2. 一般実地演習最大5件    3. みなし履修なし

## 実地演習実施機関届出書

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

私は、実務修習実地演習を下記の実地演習実施機関の指導鑑定士のもと受講したく申請いたします。

修習生番号	— —	※事務局記入欄
受講者氏名		印
実地演習実施機関との関係	自社 ・ 他社 ・ 大学 （いずれかに○を付してください）	

実地演習実施機関	
所在地	〒
業者又は大学名	印
電話番号	
本会登録番号（業者）	（5・6・8から始まる8桁）
指導鑑定士名	印
本会登録番号（個人）	（0・1から始まる8桁）

実務修習期間の選択	1年コース ・ 2年コース （いずれかに○を付してください）
-----------	--------------------------------

- ※ 実務修習期間は、申請後変更できませんのでご注意ください。  
※ 実務演習実施機関は、本会に申請を行い認定された鑑定業者又は大学となります。

## 実地演習実施機関認定申請書

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

当社（大学）は、実地演習実施機関として実地演習を行いたく、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会実務修習業務規程第11条第1項の規定に基づき申請いたします。

名称	フリガナ		
	印		
所在地	〒		
	TEL - -		
代表者の氏名	フリガナ		
専任の不動産鑑定士の氏名	フリガナ		
指導者等となる不動産鑑定士の数	名	従業者の総数 (鑑定士の数)	名
修習生のコース別 受入予定数	1年コース	名	2年コース
			名

本会会員登録事項	本会登録番号（業者）	(5・6・8から始まる8桁)		
主務管庁登録事項	国土交通大臣 ・ 知事		主たる ・ 従たる事務所	
	登録番号	第 号	登録年月日	年 月 日

(注1) 「専任の不動産鑑定士の氏名」は、大学にあっては指導を統轄する専任の不動産鑑定士。  
不動産鑑定業者にあってはその登録に係わる専任不動産鑑定士。

(注2) 太枠内は、不動産鑑定業者のみ記載のこと。

様式4（規程第11条第3項・細則第6条第3項第一号関係）

## 誓 約 書

当社（大学）・私共役員は、「不動産の鑑定評価に関する法律」第14条の4第1号の「この法律の規定に違反して、刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して二年を経過しない者」に該当しないことを誓約します。

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

申請業者(大学)名

所在地

(代表者) 氏名

印

## 同 意 書

当社（大学）は、実務修習の実施にあたり、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会（以下、「本会」という。）実務修習業務規程に掲げる次の条件に同意いたします。

- 一 第12条から第14条までに規定する本会の是正措置及び認定の取消しに従うこと。
- 二 第15条に規定する実地演習の休廃止には本会の承認を要すること。
- 三 第22条第2項に規定する実地演習の指導者等に関する代替措置の実施義務を遵守すること。
- 四 第24条第2項に規定する実地演習の実施条件を遵守すること。
- 五 第47条に規定する守秘義務を遵守すること。

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

申請業者(大学)名

所在地

(代表者) 氏名

印

様式6（規程第18条、細則第8条第1項第三号・第10条第2項第二号関係）

## 誓 約 書

私は、「不動産の鑑定評価に関する法律」第14条の4第1号の「この法律の規定に違反して、刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して二年を経過しない者」及び第40条第1項又は第2項の規定による懲戒処分を受けた者に該当しないことを誓約します。

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

氏 名

印

様式7（規程第18条・第19条・第20条、細則第8条第1項第四号・第10条第2項第三号関係）

## 誓 約 書

私は、「公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会実務修習業務規程」第18条に規定する基準を満たし、第19条及び第20条第1項の指導者等の解任若しくはその認定の取り消しの規定に抵触することがないように指導者等の任務を全うすることを誓約いたします。

また、万一指導者等の基準に満たない等、上掲の指導者等の解任若しくは認定の取り消しの規定に抵触した場合、理由の如何を問わず直ちに指導者等を辞任することを承諾いたします。

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

氏 名 印

## 同 意 書

私は、実務修習の実施にあたり、不動産の鑑定評価に関する法律第14条の十三の「実務修習機関若しくはその職員又はこれらの者であった者は、実務修習業務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。」及び「刑法その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす」の規定に従い承諾するとともに、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会実務修習業務規程第21条及び第24条第1項の次の条件に同意いたします。

- 一 指導者等の辞任又は認定の取消しの申出をしようとするときは、遅くとも1ヶ月前までに申し出ること。
- 二 指導に当たって次に掲げる事項を守ること。
  - 1 課程ごとに、修習生本人が受講していることを確認すること。
  - 2 修習生の質問に対して適切に応答すること。
  - 3 基本演習の指導に当たっては、修習生の作成した鑑定評価報告書について不備又は不適切な内容の有無を審査し、その完成のための修正を指導すること。
  - 4 実地演習の指導に当たっては、修習生に対して、その提出する鑑定評価報告書が、類型ごとに本会が定める実地演習実施要領において決められた水準を確保するよう指導すること。
  - 5 その他実務修習の実施に当たって指導者等が留意すべき事項として細則で定められた事項を守ること。

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

氏 名 印

## 指導者認定申請書

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

私は、実地演習の指導者として認定いただきたく、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会実務修習業務規程第17条第5項の規定に基づき申請いたします。

氏名	フリガナ			
	印			
不動産鑑定士登録事項	登録番号	第 号	登録年月日	年 月 日
本会会員登録事項	本会登録番号（個人）	（0・1から始まる8桁）		
生年月日	年 月 日	満 才	男 ・ 女	
現住所	〒			
職歴 （鑑定評価業務に関わる主なものの）	年 月 日 ～ 年 月 日	業者名称		
	上記のとおり相違ないことを証明する。 業者代表者氏名 印			
	年 月 日 ～ 年 月 日	業者名称		
	上記のとおり相違ないことを証明する。 業者代表者氏名 印			
	年 月 日 ～ 年 月 日	業者名称		
	上記のとおり相違ないことを証明する。 業者代表者氏名 印			
通算従事期間	年 月 日 ～ 年 月 日までのうち			年間
研修受講の有無	<input type="checkbox"/> 私は、最新の指導鑑定士研修を受講しています。			

実地演習実施機関	
実地演習実施機関名称	
代表者氏名	印

平成 年 月 日

## 実務修習・基本演習の欠席に係る報告書

修習生番号

修習生氏名

印

私は、実務修習・基本演習において、下記のとおり欠席（遅刻・早退等含む）いたしましたので、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会実務修習業務規程施行細則第 15 条第七号に基づき報告いたします。

1. 欠席した年月日・受講場所
2. 基本演習の段階及び演習類型
3. 欠席の理由
4. 報告書提出日
5. 評価対象不動産の鑑定評価報告書（実地調査日に欠席した場合は、評価対象不動産の遠景・近景の写真各 1 枚及び採用した事例の写真各 1 枚を含む。）

# 物件調査実地演習報告書 (土地)

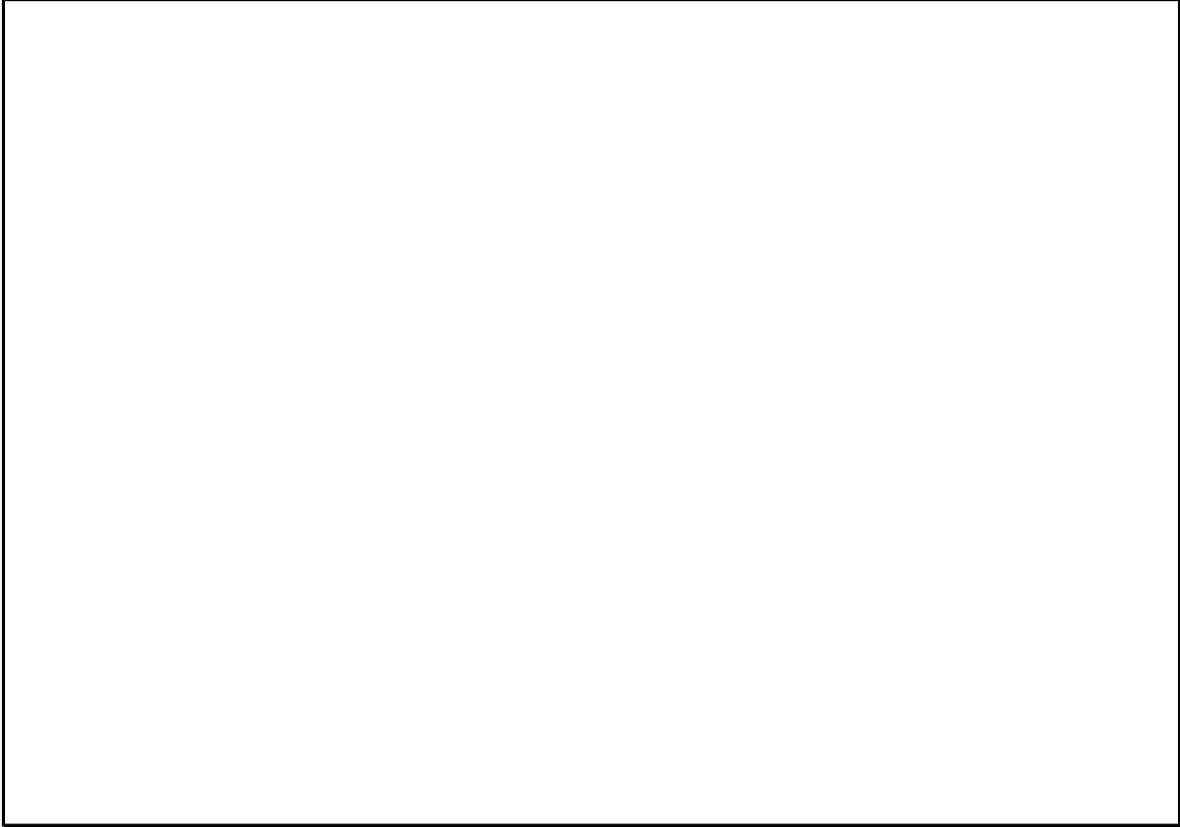
土地 - 1

土地用

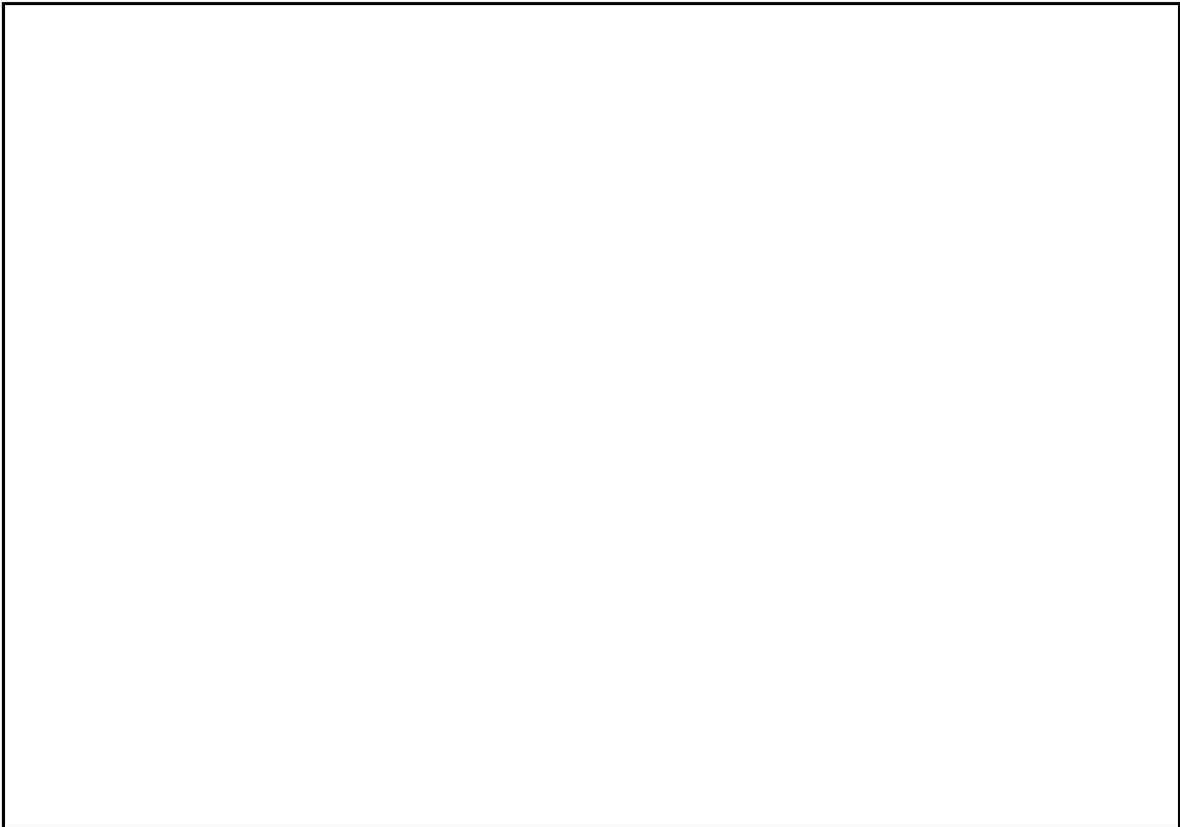
調査日							
対象物件	所在・地番	(住居表示)					
	地目	(登記簿)	地積	(登記簿)	0.00m <sup>2</sup>	持分	
		(現況)		(実測)	0.00m <sup>2</sup>		
現地調査	境界確認						
	概測方法						
	その他						
登記事項	甲区						
	乙区						
地図等	入手資料						
要因関係	接面道路の幅員及び構造等	前面道路	方位:	幅員:	歩道:	舗装:	種類:
		側道及び背道	方位:	幅員:	歩道:	舗装:	種類:
			方位:	幅員:	歩道:	舗装:	種類:
			方位:	幅員:	歩道:	舗装:	種類:
		接道状況					
		私道負担等		負担等の内容			
		地下埋設物の有無及びその状態					
	埋蔵文化財の有無及びその状態						
	土壌汚染の有無及びその状態						
法令制限	区域区分		用途地域				
	建ぺい率	指定	基準	容積率	指定	基準	
	防火指定		高度地区		日影規制		
	その他法律						
供給処	施設	引込状況	事業所・担当課名			電話番号	
	電気						
	上水道						
	下水道						
	都市ガス						
備考							

土 地 用

(地図写)



(公図写)

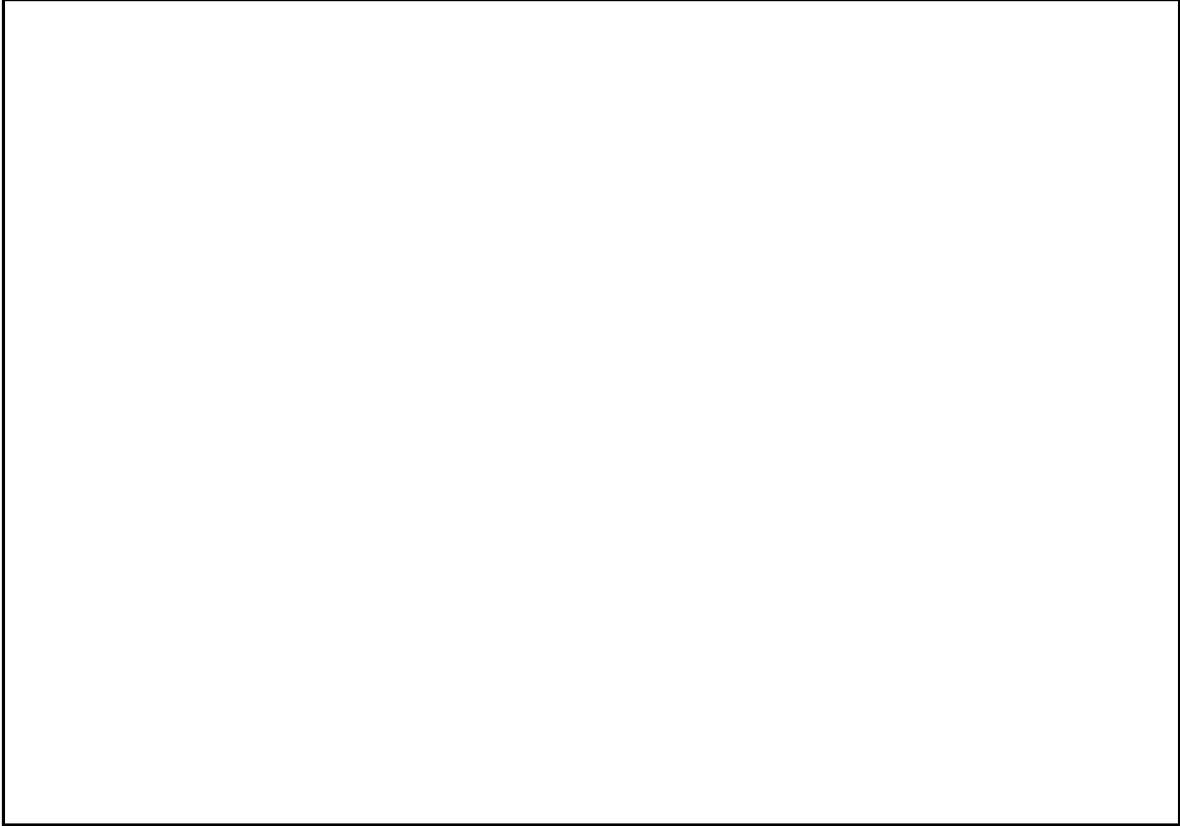


# 現況写真

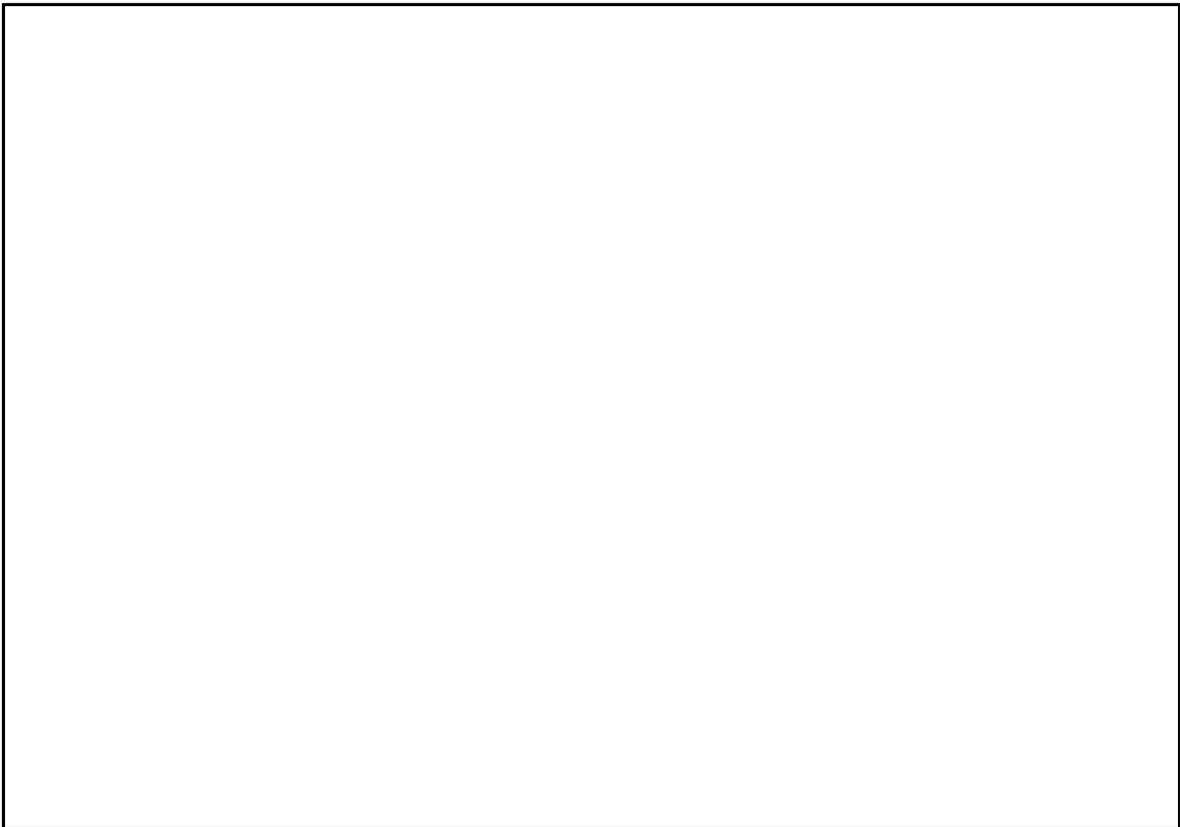
土地-3

土地用

(近景)



(遠景)



# 物件調査行動記録

土地 - 4

土地用

日時		訪問先	内容
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	

# 物件調査実地演習報告書 (建物)

建物 - 1

建物用

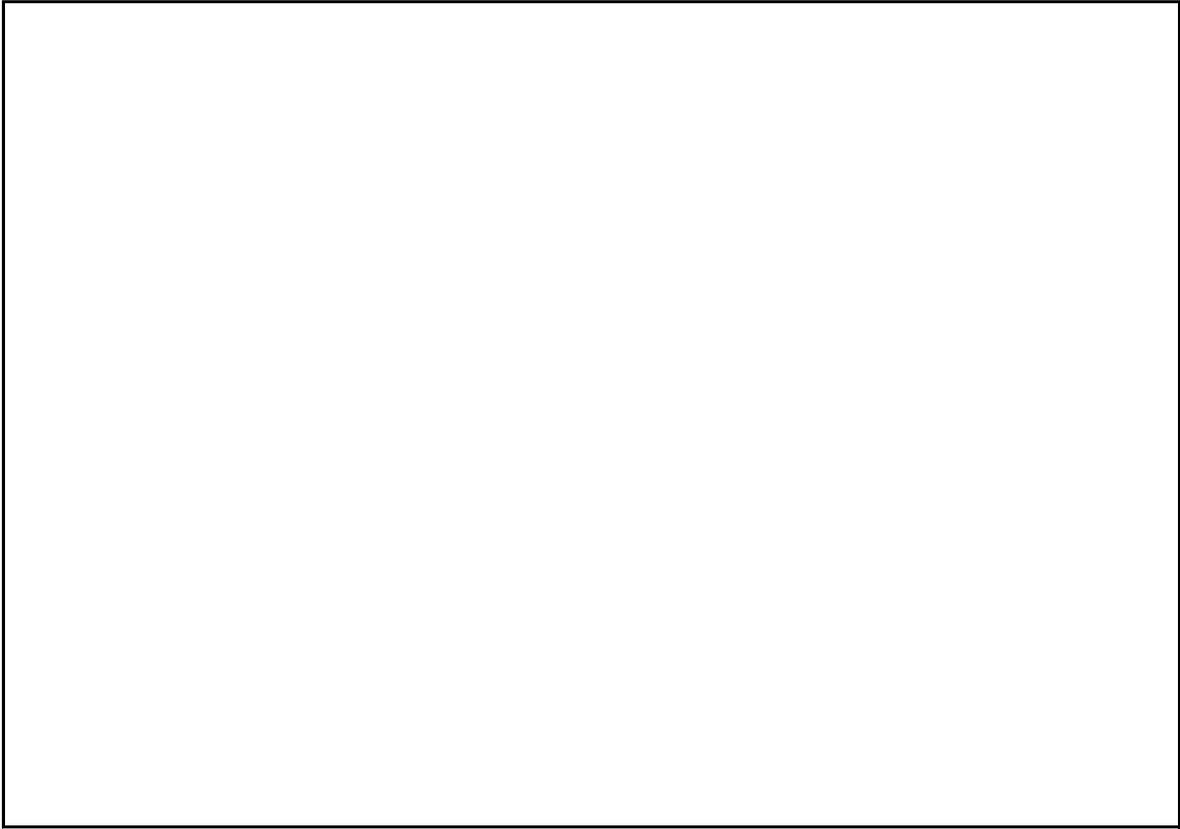
調査日						
対象物件	所在				家屋番号	
	構造					
	用途	(登記簿)	床面積	(登記簿)	持分	
	(現況)	(竣工図)				
現地調査	確認箇所					
	確認結果					
	その他					
登記事項	甲区					
	乙区					
建物図面	入手資料					
要因関係	建築年次					
	部分使用 資材等 (主 なもの)	基礎		屋根		
		外壁		天井		
		内壁		床		
	外構工事等					
	付帯設備	電気		防災		
		空調		ELV		
		衛生		その他		
	耐震性					
	遵法性					
	有害な物質 の使用の有 無及びその 状態	アスベスト				
		P C B				
減価要因	物理的要因					
	機能的要因					
	経済的要因					
維持管理の 状況						
備考						

# 建物図面・各階平面図写

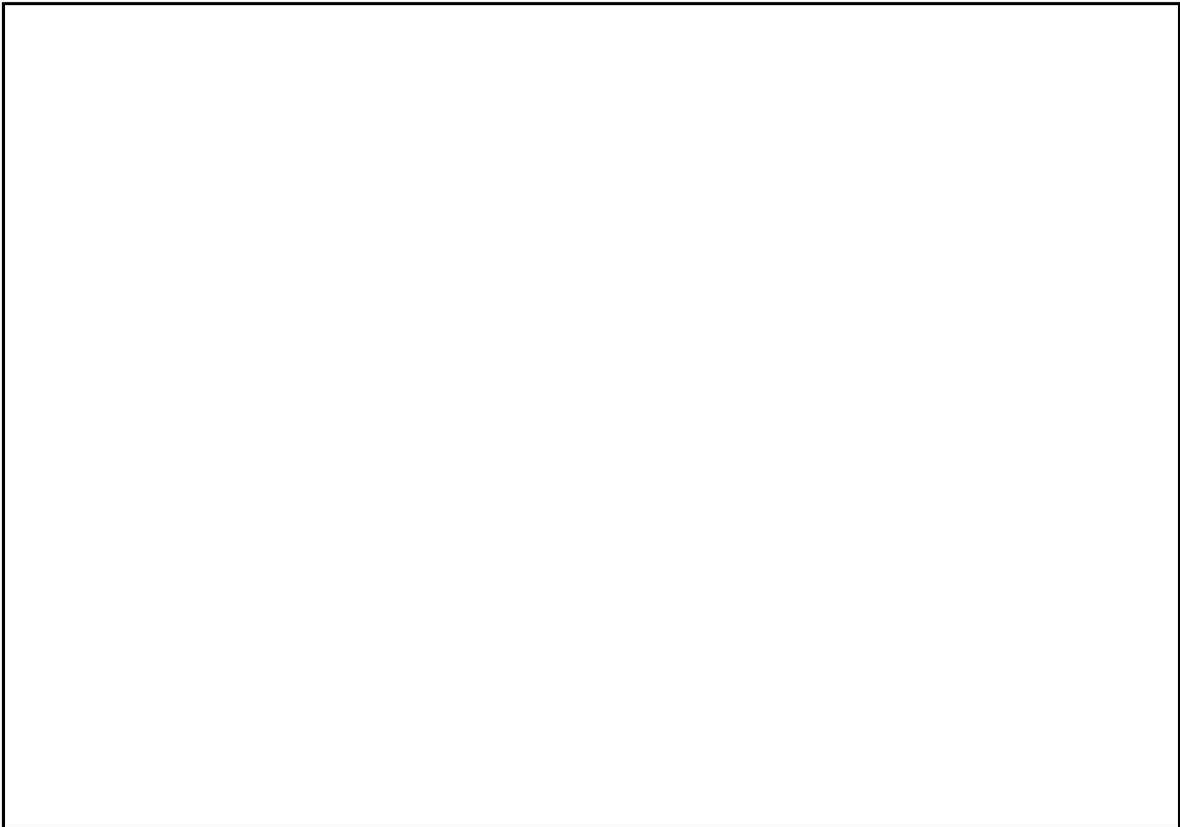
建物－2

建物用

(建物図面写)



(各階平面図写)

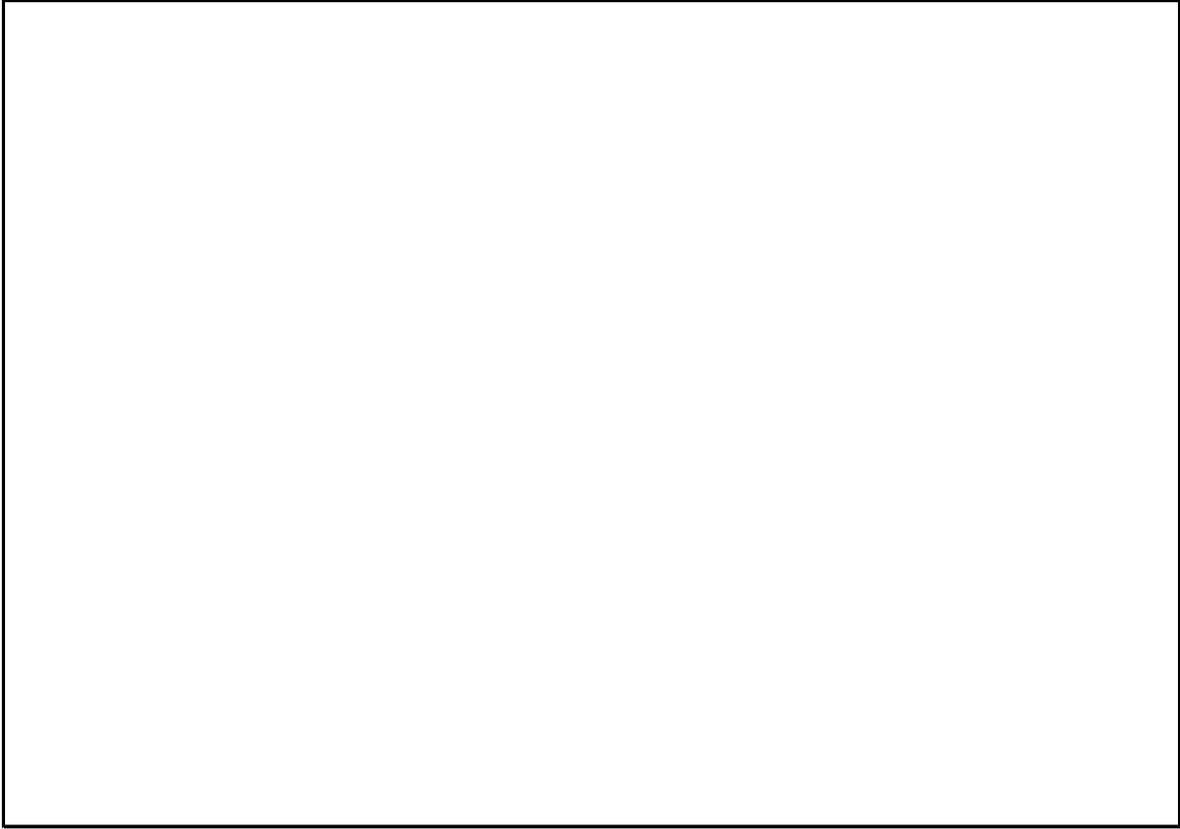


# 現況写真

建物-3

建物用

(エントランス付近)



(全景)



# 物件調査行動記録

建物－4

建 物 用

日時		訪問先	内容
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	
	時 分 ～ 時 分	担当者：	



細分化類型等	記載欄										
	対象物件 選定理由										
	指導上の 留意点										
	指導日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
	対象物件 選定理由										
	指導上の 留意点										
	指導日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
	対象物件 選定理由										
	指導上の 留意点										
	指導日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
	対象物件 選定理由										
	指導上の 留意点										
	指導日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
	対象物件 選定理由										
	指導上の 留意点										
	指導日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
	対象物件 選定理由										
	指導上の 留意点										
	指導日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
	対象物件 選定理由										
	指導上の 留意点										
	指導日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
		月	日	月	日	月	日	月	日	月	日

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

修習生番号

修習生氏名

印

## 再受講・再履修申請書 (実務に関する講義・基本演習用)

私は、実務修習の単元未修得の次の課程について、再履修等いたしたく、ここに申請いたします。

### 1. 再履修等する課程の別

再履修等する課程に○を付し、通算何度目の再履修等となるか記入。

課 程 名	再履修申請の有無	通算受講・履修回数
不動産の鑑定評価の 実務に関する講義		度目
基 本 演 習		度目

### 2. 連絡先

(1) 住 所 〒

(2) 電 話

(3) F A X

(4) E-m a i l

以 上

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

修習生番号

修習生氏名

印

## 再履修申請書（実地演習用）

私は、実務修習・実地演習課程について、次のとおり、再履修いたしたく、ここに申請いたします。

### 1. 再履修等の種類（該当する方に○を付してください）

実務修習期間内の再履修等	延長期間における再履修等
--------------	--------------

### 2. 再履修申請する内訳（該当する報告回、年月、件数を記入してください）

実地演習		第 回報告分 ・ 平成 年 月末締切分								
番号	分類		細分化類型等	再履修申請する件数	番号	分類		細分化類型等	再履修申請する件数	
	種別	類型等				種別	類型等			
1	宅地	更地	住宅地		11	建物及びその敷地	貸家及びその敷地	居住用賃貸		
2			商業地		12			オフィス用賃貸		
3			工業地		13			区分所有建物及びその敷地	マンション	
4			大規模画地		14				事務所・店舗	
5			底地	底地				15	借地権付建物	住宅地
6	見込地等	宅地見込地・農地・林地	宅地見込地		16	商業地				
7			農地		17	地代	新規地代			
8			林地		18		新規家賃			
9	建物及びその敷地	自用の建物及びその敷地	低層住宅		19	賃料	家賃	新規家賃		
10			業務用ビル		20			継続家賃		

### 3. 連絡先

(1) 住所 〒

---



---

(2) 電話

---

(3) F A X

---

(4) E-mail

---

以上

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

修習生番号

修習生氏名

印

## 実務修習期間延長申請書

私は、下記の理由により、実務修習期間を延長いたしたく、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会実務修習業務規程第31条第2項の規定に基づき申請いたします。

### 1. 理由

### 2. 現在申請している実務修習期間 (いずれかに○を付してください)

1年 ・ 2年

### 3. 申請を行う延長の期間 (いずれかに○を付してください)

1年 ・ 2年

### 4. これまでに受けた課程別の認定内訳

講義	認定・非認定	基本演習	認定・非認定
物件調査実地演習	土地 認定・非認定	建物	認定・非認定
一般実地演習	認定	非認定	件

### 5. 連絡先

(1) 住所 〒

(2) 電話

(3) F A X

(4) E-mail

以上

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会 御中

住 所

氏 名 印

昭和・平成 年 月 日生

## 物件調査実績報告書

私は、不動産の鑑定評価に関する法律第3条第1項に規定する不動産鑑定評価業務において、次のとおり、鑑定評価報告書の作成過程において物件調査に従事したので、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会実務修習業務規程第32条の規定並びに同施行細則第19条及び第20条の規定に基づき報告いたします。

### 物件調査実績 (物件調査を行った事例)

#### (1) 土地

1	調査日	平成 年 月 日	所在地	地目	登記簿 現況	地積	登記簿 実測
	法令制限	区域区分 建蔽率：指定 基準 用途地域 容積率：指定 基準		現地調査 概測方法			
2	調査日	平成 年 月 日	所在地	地目	登記簿 現況	地積	登記簿 実測
	法令制限	区域区分 建蔽率：指定 基準 用途地域 容積率：指定 基準		現地調査 概測方法			
3	調査日	平成 年 月 日	所在地	地目	登記簿 現況	地積	登記簿 実測
	法令制限	区域区分 建蔽率：指定 基準 用途地域 容積率：指定 基準		現地調査 概測方法			
4	調査日	平成 年 月 日	所在地	地目	登記簿 現況	地積	登記簿 実測
	法令制限	区域区分 建蔽率：指定 基準 用途地域 容積率：指定 基準		現地調査 概測方法			
5	調査日	平成 年 月 日	所在地	地目	登記簿 現況	地積	登記簿 実測
	法令制限	区域区分 建蔽率：指定 基準 用途地域 容積率：指定 基準		現地調査 概測方法			
6	調査日	平成 年 月 日	所在地	地目	登記簿 現況	地積	登記簿 実測
	法令制限	区域区分 建蔽率：指定 基準 用途地域 容積率：指定 基準		現地調査 概測方法			

7	調査日	平成 年 月 日	所在地	地目	登記簿 現況	地積	登記簿 実測
	法令制限	区域区分 建蔽率：指定 基準 用途地域 容積率：指定 基準		現地調査 概測方法			
8	調査日	平成 年 月 日	所在地	地目	登記簿 現況	地積	登記簿 実測
	法令制限	区域区分 建蔽率：指定 基準 用途地域 容積率：指定 基準		現地調査 概測方法			

#### (2) 建物

1	調査日	平成 年 月 日	所在地	家屋 番号	構造
	用途	登記簿 現況	床面積 竣工図	現地調査の 確認箇所・ 結果	
2	調査日	平成 年 月 日	所在地	家屋 番号	構造
	用途	登記簿 現況	床面積 竣工図	現地調査の 確認箇所・ 結果	
3	調査日	平成 年 月 日	所在地	家屋 番号	構造
	用途	登記簿 現況	床面積 竣工図	現地調査の 確認箇所・ 結果	
4	調査日	平成 年 月 日	所在地	家屋 番号	構造
	用途	登記簿 現況	床面積 竣工図	現地調査の 確認箇所・ 結果	
5	調査日	平成 年 月 日	所在地	家屋 番号	構造
	用途	登記簿 現況	床面積 竣工図	現地調査の 確認箇所・ 結果	
6	調査日	平成 年 月 日	所在地	家屋 番号	構造
	用途	登記簿 現況	床面積 竣工図	現地調査の 確認箇所・ 結果	
7	調査日	平成 年 月 日	所在地	家屋 番号	構造
	用途	登記簿 現況	床面積 竣工図	現地調査の 確認箇所・ 結果	
8	調査日	平成 年 月 日	所在地	家屋 番号	構造
	用途	登記簿 現況	床面積 竣工図	現地調査の 確認箇所・ 結果	



## 実務修習修了証

氏 名

生年月日

あなたは、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会が行った実務修習のすべての課程を修了し、国土交通大臣の確認を終えたことを証します。

平成 年 月 日

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会

会 長 印